学研都市記者クラブ、京都経済記者クラブ、京都府政記者クラブ
奈良県県政･経済記者クラブ、大阪経済記者クラブ　（14：00 同時資料配付）

報道資料

けいはんな
学研都市

けいはんな R&D イノベーションフォーラム 2022～けいはんな学研都市先端シーズフォーラム～（一般公開 WEB セミナー）の開催について

令和４年１２月２日
（公財）関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室

関西文化学術研究都市推進機構では、新事業新産業創出を図るため、「けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム」を設置し、オープンイノベーションを基軸として、未来社会やマーケットの想定に基づく産学官連携を推進しているところです。

7回目となる今回のフォーラムでは、当コンソーシアムの具体的な活動状況・成果をご紹介するとともに、「AI・IoT技術が変える未来の社会～スマート社会の実現に向けて～」をテーマとして、AI・IoTの分野に精通するお二人を講師としてお招きし、最新の動向や今後の展望等について、ご講演いただきます。

なお、前年度に続き、「けいはんな学研都市先端シーズフォーラム」との合同開催といたしておりますが、一般の方もご参加いただけますので、多くの皆さまからのお申込みをお待ちしております。

記

１　日　時　　令和４年１２月２１日（水）　１３：００～１６：３０
２　開催等　　Zoom Webinar によるオンライン講演
３　内　容
（１）　コンソーシアム活動状況について
関西文化学術研究都市推進機構　　理事　江見 和明
コンソーシアム会員企業事例紹介
○「地域の課題解決を支援する都市のデジタルツイン」
ダッソー・システムズ株式会社 パブリックセクターディレクター　熊野 和久 氏
○「高床式砂栽培トレファーム®とシェアリング農業について」
東レ建設株式会社 トレファーム事業推進室 次長　小倉 久弥 氏
（２）　特別講演
○「IoT ビッグデータのためのリアルタイム AI 技術」
大阪大学 産業科学研究所 産業科学 AI センター センター長 教授　櫻井 保志 氏
○「ハイパーデモクラシーを目指して
：AI エージェント技術に基づく大規模合意形成プラットフォームの実現」
京都大学 大学院 情報学研究科 教授　伊藤 孝行 氏

４　参加申込　https://www.kri.or.jp/contact/rdic_forum2022.html

【お問合せ】
（公財）関西文化学術研究都市推進機構（イノベーション推進室）　藤川
ＴＥＬ：0774-95-5047（直）　Ｅメール：rdmm@kri.or.jp

＜参 考＞

■「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」

2016 年 5 月発足の RDMM 支援センターが事務局を務めるコンソーシアム組織で、新事業・新産業創出に向けたワーキング活動や共同研究開発プロジェクト等に取り組んでいる。
会員数 127（内企業 101）、会長；塩﨑一裕奈良先端科学技術大学院大学学長（令和 4 年 10 月末現在）

https://www.kri.or.jp/conso/

■「Club けいはんな」

2016 年 11 月設立の住民によるサポーター組織で、アンケート調査、ワークショップ（アイデアや有効性の検討等）、実証実験への参画等に取り組み、生活者目線での意見等を研究開発等に活用している。会員数 3,109 名（令和 4 年 10 月末現在）

https://www.kri.or.jp/rdmm/club/

■「けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム」

2018 年 3 月から、我が国初の自動運転等の新技術や次世代交通システムの確立に向けた、企業乗合型・住民参加型公道走行実証実験プラットフォーム（K-PEP）の提供を開始。これまで 19 社が 25 回実証実験を実施し、未来の交通システム実現に向けた検討の加速を支援。

https://www.kri.or.jp/rdmm/tokku/

けいはんな R&D イノベーションフォーラム 2022

けいはんな学研都市先端シーズフォーラムとの合同開催

AI・IoT技術が変える未来の社会

～スマート社会の実現に向けて～

2022年12月21日（水）一般公開WEBセミナー（開始13:00）

近年、技術開発が進むAI・IoTは、幅広い分野で導入が進み、社会や産業、私たちの暮らしに大きな変化を与えようとしています。けいはんな学研都市では、これらのスマートテクノロジーを活用して地域の課題解決を図る、スマートシティの実現に向けた取組を進めてきましたが、今後のさらなるAI・IoT技術の発展により、小売、流通、医療、金融、農業、教育など、ますます多様な分野に導入が期待されています。

そこで、今回のセミナーではAI・IoTの最新の動向や今後の展望等に触れ、それらが未来の社会にどのように変化をもたらすかを考えます。

13:00　開会挨拶　関西文化学術研究都市推進機構　常務理事　河合智明
13:10　コンソーシアム活動状況について　関西文化学術研究都市推進機構 理事　江見和明
13:25　Session_1；会員企業事例紹介
・防災・デジタルツイン　―　ダッソー・システムズ 株式会社
パブリックセクター ディレクター　熊野和久 氏
「地域の課題解決を支援する都市のデジタルツイン」
・農食健康　―　東レ建設 株式会社トレファーム事業推進室 次長　小倉久弥 氏
「高床式砂栽培トレファーム®とシェアリング農業について」
13:55　Session_2；特別講演1
大阪大学 産業科学研究所 産業科学AIセンター　センター長　教授　櫻井保志 氏
「IoTビッグデータのためのリアルタイムAI技術」
15:15　Session_3；特別講演2
京都大学　大学院　情報学研究科　教授　伊藤孝行 氏
「ハイパーデモクラシーを目指して：AIエージェント技術に基づく大規模合意形成プラットフォームの実現」
16:25　閉会御礼

櫻井保志　氏

伊藤孝行　氏

参加のお申し込みはQRコードまたはURLから
https://www.kri.or.jp/contact/rdic_forum2022.html

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室
RDMM 支援センター

主催：公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構
共催：公益社団法人関西経済連合会
後援：国立国会図書館，関西広域連合，京都府，
大阪府，奈良県，公益財団法人国際高等研究所

けいはんなR&Dイノーベーションコンソーシアム会員企業　限定

Clubけいはんなサポートサービス

生活者目線を研究開発に活かし
新規事業創出に欠かせない
「マーケットの本質」探索をサポートします。

■ 協力

京都府　京田辺市　木津川市　精華町
大阪府　枚方市　四條畷市　交野市
奈良県　奈良市　生駒市

Keihanna Science City

インターネットアンケート

ご案内いたします所定のWebページにアクセスして頂き、質問にお答えいただくアンケートです。

ワークショップ

数名のメンバーで構成し問題発見や解決アイデアを討議しながら創出します。

実証実験

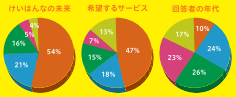
社会実証実験のモニターとなって頂き、実用化に向けたご意見をいただきます。

プロトタイプ評価

数名のメンバーで構成し議論しながら企業が作成した試作品の評価を行います。

2021年度アンケート調査内容

・けいはんなの未来について／・AIの社会的受容性／・人違いの調査



2021年度ワークショップ

・未来洞察から生み出すアイデア
住民×企業×行政 合同ワークショップ
身近な道路・バス停を斬新に便利に楽しく

お問い合わせは

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室
RDMM 支援センター

〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1丁目7
けいはんなプラザラボ棟3F
Email:rdmm@kri.or.jp
URL:www.kri.or.jp/rdmm/

K-PePご利用分担金について

・基本分担金　10万円 / 年間
・設備設置・変更（5万円～）
・住民周知（5万円～）
・各種許認可（5万円～）
・Clubけいはんな利用（5万円～）　・その他

優れた道路環境と立地施設の協力

住民協力による実証・評価が可能

警察・行政の支援を得て素早い対応が可能

施設の共同利用による研究開発コストの低減

K-PePはオープンで誰でも利用でき，自社に必要な研究・開発を自由に行えるプラットフォームです

K-PeP

けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム
(Keihanna Public road experimental Platform)
K-PeP